



平成27年度受験案内

新潟県職員採用選考考査

平成27年11月27日

新潟県人事委員会

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁内

TEL (025) 280-5538

Fax (025) 280-5499

☆受付期間 平成27年11月27日(金)～12月16日(水)

☆第1次考査日 平成28年1月17日(日)

☆第2次考査日 平成28年2月14日(日)

次のとおり新潟県職員採用選考考査を行います。

1 職種・採用予定人員等

職種	採用予定人員	職務内容
美術学芸員 (西洋美術)	1人程度	県立近代美術館、県立万代島美術館等で、美術学芸員の業務に従事します。

2 受験資格

(1) 年齢等

昭和55年4月2日以降に生まれた人で、活字印刷文による出題に対応できる人

(2) 資格要件

博物館法による学芸員の資格取得者又は平成28年3月31日までに資格取得見込みの人

(3) 次のいずれかに該当する人は受験できません。

ア 成年被後見人又は被保佐人(準禁治産者を含む。)

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人

ウ 新潟県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人

エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

3 考査日時及び考査会場

区分	考査日時	考査会場
第1次考査	平成28年1月17日(日) 〔受付時間：午前9時30分から午前9時50分まで〕 ※ 受付時間までに来られないときは受験できません。 ※ 考査は午後3時10分頃に終了する予定です。	新潟県庁 (新潟市中央区新光町4番地1)
第2次考査	平成28年2月14日(日)(予定) ※ 受付時間等は第1次考査合格通知でお知らせします。	

(注) 災害等で考査が実施できない場合や時間を変更するなど緊急のお知らせについては、パソコン・携帯電話等で御覧いただける新潟県職員採用案内ホームページで行います。

4 考査の方法

	種目	内 容
第1次考査	教養考査 (120分)	公務員として必要な一般的な知識(社会科学、人文科学、自然科学)及び知能(文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈)について、大学卒業程度で筆記考査(択一式)を行います。(40問必須解答)
	専門考査 (120分)	専門的知識及び能力について、記述式による筆記考査を行います。 ※出題分野：西洋美術史、美学、芸術学、博物館学、英語等 ※専門考査については英和辞典を使用することができます。 (ただし、電子辞書類の使用は禁止します。)
第2次考査	面接考査	積極性、協調性、柔軟性、責任性等について面接考査を行います。
	適性検査	職務遂行上必要な素質及び適性について検査を行います。面接考査の参考とします。

(注) 上記のほか、受験資格の有無、申込書記載事項の真否について調査します。

5 考査の配点・基準

最終合格は、第2次考査の結果に基づき決定し、第1次考査の成績は反映されません。

また、第1次考査、第2次考査にはそれぞれ次のとおり合格に必要な基準があり、ひとつでも基準を満たさない場合、他の種目の成績に関わらず原則として不合格となります。

区分	種目	配点	基 準
第1次考査	教養考査	40 点	正答率3割5分以上 (基準は目安であり、基準を引き下げる場合があります。)
	専門考査	80 点	28 点以上 (基準は目安であり、基準を引き下げる場合があります。)
第2次考査	面接考査	130 点	50 点以上

6 合格者の発表

合格者の発表は次のとおり行います。(発表期間は合格発表日から14日間です。)

区 分	日 時	方 法
第1次考査合格者	1月29日(金)午後1時(予定)	県庁1階の広報展示室前の掲示板及び新潟県職員採用案内ホームページに合格者の受験番号を掲示するほか、各考査受験者に結果を通知します。
最 終 合 格 者	2月26日(金)午後1時(予定)	

(注) 合格発表当日は、システムの都合上ホームページ掲載に多少時間がかかることがあります。発表時間に確認ができない場合は、しばらく時間をおいて再度確認してください。

7 個人情報の開示について

この選考考査の結果については、新潟県個人情報保護条例第25条の規定に基づき、次のとおり口頭で開示を請求することができます。開示を希望する場合には、受験者本人が合否通知書を必ず持参のうえ、直接開示場所へおいでください。なお、電話等による請求では開示できません。

開示請求できる人	開示内容	開示期間	開示場所
第1次考査の不合格者	第1次考査の種目別得点、総合得点及び順位	第1次考査の合格発表日から1か月間	人事委員会 事務局総務課 (県庁16階)
第2次考査の受験者	第1次考査の種目別得点、総合得点及び順位並びに第2次考査の種目別得点及び総合ランク	最終合格発表日から1か月間	

(注) 発表当日のみ、開示時間は午後1時からとなります。

8 採用予定

採用は平成28年4月1日以降に行われます。ただし、前記受験資格の資格の取得見込みを要件として受験した人については、所定の時期までに資格を取得できなかった場合は採用されません。

9 給与(初任給)

平成27年度の新規学校卒業者の初任給は181,704円(地域手当含む。)です。(平成27年4月1日現在)
卒業後に職歴等がある場合は、一定の基準により加算されます。
このほか期末手当、勤勉手当及び状況により扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給されます。

10 受験手続

受験申込先	新潟県人事委員会事務局 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁内	
受付期間	平成27年11月27日(金)～12月16日(水)	
提出書類	(1) 受験申込書及び受験票(郵送又は持参による申込みの場合) 所要事項を記入し、所定の写真(半身、脱帽、正面向の写真(4.5cm×3.5cm・パスポートサイズ)で6か月以内に撮影したもの)を必ず貼付してください。 (2) 学芸員資格の取得を証明する書類	
受験申込方法 (いずれかの方法による)	電子申請	新潟県職員採用案内ホームページから、電子申請ページにアクセスし、受験申込内容を入力・送信してください。 受験申込内容が送信されると、受験申込到達通知メールが届きますので、必ず内容を確認してください。しばらく経っても届かない場合は必ずお問い合わせください。 (注) 12月16日午後5時15分までに正常に到達したもののみを有効とします。正常に到達しない場合は受験できませんので御注意ください。 予期せぬ機器停止や通信障害など一切のトラブルについて責任は負いかねますので、十分余裕をもって申込みを行ってください。 (注) 学芸員資格の取得を証明する書類を、上記の受付期間中に郵送又は持参してください。
	郵送	上記の提出書類を新潟県人事委員会事務局に郵送してください。(新潟県職員採用案内ホームページにも申込書の様式を掲載していますので、ダウンロードしてA4版の白紙に黒色で印刷し、必要事項を記入の上、提出することもできます。) 郵送する場合は、封筒の表に「美術学芸員受験」と朱書きし、 <u>必ず簡易書留等確実な方法で送付してください。</u> なお、普通郵便による郵送で事故が発生した場合の責任は負いかねます。 (注) <u>12月16日までの消印のあるものに限り受け付けます。</u>
	持参	上記の提出書類を新潟県人事委員会事務局に直接持参してください。(新潟県職員採用案内ホームページにも申込書の様式を掲載していますので、ダウンロードしてA4版の白紙に黒色で印刷し、必要事項を記入の上、提出することもできます。) (注) <u>受付期間の午前8時30分から午後5時15分まで受け付けます。ただし、土曜日及び日曜日は持参の受付を行いません。</u>
受験票の交付	受験票は12月25日に県庁から発送します。1月4日までに到着しないときは、人事委員会事務局まで至急お問い合わせください。 電子申請による申込者は、受験票受領後、受験票に所定の写真(上記「提出書類」参照)を貼り、 <u>宣誓欄に署名をして</u> 検査当日に持参してください。	

11 その他

(1) 第1次考查日(1月17日)は、次のものを忘れずに持参してください。

ア 受験票(所定の写真を貼ったもの)

イ 鉛筆(B又はHBの黒鉛筆3本以上(シャープペンシルは使用できません。))、消しゴム、鉛筆削り

ウ 昼食

エ 時計

※ 専門考查において英和辞典を使用する場合は各自でお持ちください。貸し出しは行いません。

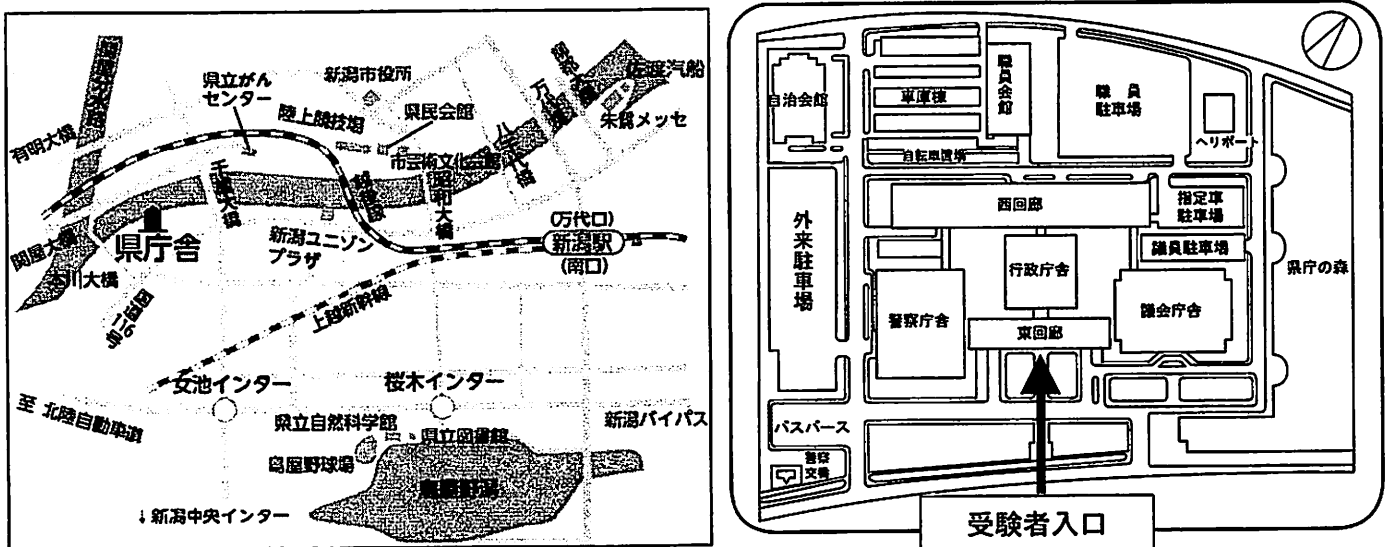
(2) 携帯電話等電子機器を時計代わりに使用することはできません。考查中は携帯電話等の電源を確実に切ってください。

(3) 駐車場の用意はありません。

(4) 不明な点は、新潟県人事委員会事務局へお問い合わせください。

考 査 会 場 案 内 図

新潟県庁(新潟市中央区新光町4番地1) ※新潟駅からバスで約30分



※正面玄関からお入りください。

この選考考查についての問い合わせ先

新潟県人事委員会事務局総務課任用係

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁内 16階

TEL (025) 280-5538 FAX (025) 280-5499

●新潟県職員採用案内ホームページ

<http://www.pref.niigata.lg.jp/jinjii/saiyou2.html>

●新潟県職員採用案内モバイルページ

<http://mobile.pref.niigata.lg.jp/m/jinjii/mobile.html>



平成27年度 新潟県職員採用選考考査受験申込書

※受験番号	職 種			※取扱印
	美術学芸員（西洋美術）			
ふりがな		性別（○で囲む）	生年月日（年号はどちらか一つを○で囲む）	
氏 名		男 ・ 女	昭和・平成 年 月 日生 (平成28年4月1日現在 満 歳)	
現住所	(〒 -) 電話番号は緊急の場合にも連絡がとれる番号を記入してください 電 話 番 号 : _____			
連絡先 (面接考査日・ 合否通知先)	(〒 -) 現住所と同じ場合は「同上」と記入してください 電 話 番 号 : _____			
最終学歴	学校名	学部学科名・専攻名	所在地	入学、卒業等年月
				平成 年 月 入学 平成 年 月 卒、卒見込
資 格	学芸員資格取得(取得見込み) 年月日 平成 年 月 日取得(取得見込み)			

記入上の注意

- 1 記入事項に不正があると、採用される資格を失うことがあります。
- 2 ※印のある欄を除き、申込書、受験票とも全部記入してください。

平成27年度
新潟県職員採用選考考査受験票

※受験番号	職 種
	美術学芸員（西洋美術）
ふりがな	
氏 名	

宣誓	私は受験を希望する考査の受験案内に掲げてある受験資格をすべて満たしており、受験申込書のすべての内容は事実と相違ありません。
	平成 年 月 日
	氏名(自署) _____

○第1次考査日
平成28年1月17日(日)
受付9:30～9:50

○第1次考査会場
新潟県庁西回廊講堂(2階)
(新潟市中央区新光町4番地1)

写 真

注意 半身、脱帽、正面向
きで6か月以内に撮
影した写真を貼付し、
申し込んでください。
写真裏面に氏名を
記入してから貼り付
けてください。
縦 4.5 cm
横 3.5 cm
(パスポートサイズ)

考査当日は、受験票(所定の写真を貼ったもの)、
鉛筆(B又はHBの黒鉛筆3本以上)、消しゴム、鉛筆
削り、昼食及び時計を持参してください。
※シャープペンシルは使用できません。

※取扱印

新潟県人事委員会
電話 (025) 280-5538



(切り離さないでください)

平成28年度採用 尼崎市教育委員会職員 (学芸員：考古学)募集案内

採用予定日 平成28年4月1日

〔試験 日〕 第1次試験 平成28年1月24日(日)
第2次試験 平成28年2月中旬(予定)

〔受付 期間〕 平成27年12月9日(水)～平成27年12月22日(火)
期間中、平日の午前8時45分から午後5時30分まで
(ただし、正午から午後1時までを除く)
※郵送の場合も期限内必着

受付・問い合わせ先

尼崎市教育委員会事務局管理部職員課(尼崎市役所本庁舎北館3階)

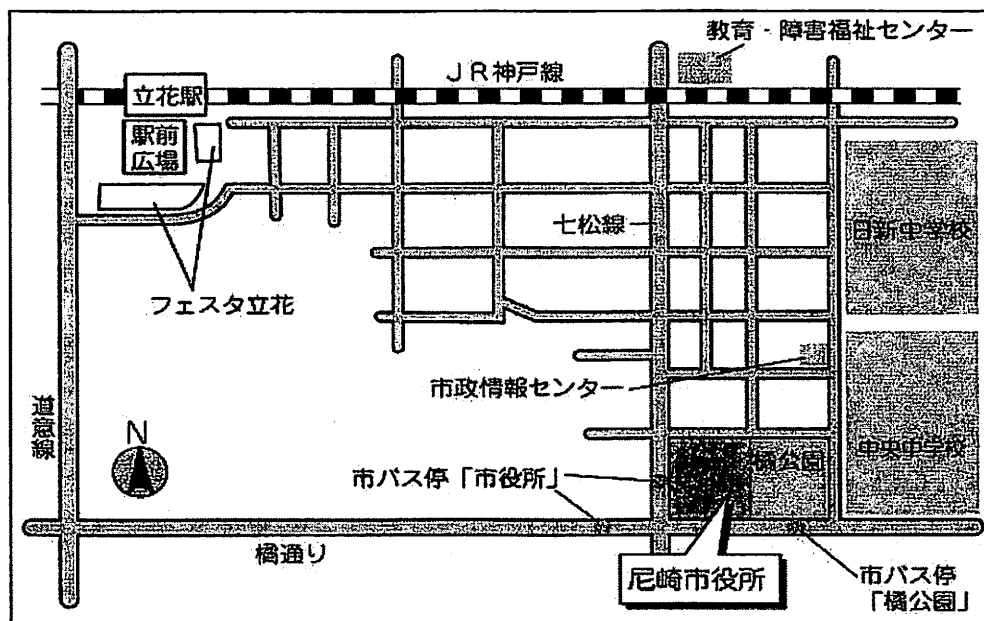
〒660-8501

尼崎市東七松町1丁目23番1号(JR立花駅より南東へ約800m)

TEL(06)6489-6709

インターネットによる採用情報

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/bosyu/syokuin/index.html>



1 職種、採用人数及び受験資格

職 種	採用人数	受 験 資 格
学芸員 (考古学)	若干名	次の(1)～(4)の条件をいずれも満たす者 (1) 昭和45年4月2日以降生まれである (2) 博物館法で定める学芸員の資格を有する（平成28年3月までに資格取得見込みを含む） (3) 学校教育法に規定の学校において、日本考古学又はそれに類する学科等の課程を専攻し、当該学校を卒業又は修了している（平成28年3月までに卒業見込み又は修了見込みを含む） (4) 埋蔵文化財の発掘調査及び当該調査に係る報告書作成の経験がある

※ 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する者は受験できません。

※ 国籍は問いません。

〔地方公務員法第16条（欠格条項）〕

- 1 成年被後見人又は被保佐人
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 3 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 4 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第5章に規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 5 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 試 験

(1) 第1次試験（筆記試験）

ア 日 時 平成28年1月24日（日） 午前8時45分から午後1時まで

イ 場 所 尼崎市立教育総合センター（尼崎市三反田町1丁目1番1号）

TEL（06）6423-3400

ウ 持参品 受験票、HBの鉛筆、消しゴム、無地の下敷

エ 試験科目、内容及び時間

試験科目	形 式	内 容	時 間
教養試験	択一式	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能	120分
専門試験	記述式	職務の遂行に必要な学識、応用能力、判断力及び理解力	90分

オ 第1次試験の可否通知

平成28年2月上旬（予定）に郵送等にて通知します。

(2) 第2次試験（面接試験）

ア 対象者 第1次試験の合格者

イ 日時、場所等

第1次試験の合格者に対して別途通知します。

ウ 第2次試験の合否通知

平成28年2月下旬（予定）に郵送等にて通知します。

3 採用予定日

平成28年4月1日

4 職務内容

文化財の調査、保護及び活用並びに文化財施設の管理及び利用普及など文化財に関する専門的業務その他一般行政事務

5 勤務条件

(1) 初任給 196,668円（地域手当を含む月額）

※ 平成27年4月1日現在のものであり、採用時には変更されることがあります。

※ 既卒者については、卒業後の経歴により加算する場合があります。

(2) 諸手当

扶養手当、住居手当、通勤手当、期末勤勉手当等をそれぞれの規定に基づき支給します。

(3) 勤務形態

1日の勤務時間は、原則として、午前8時45分から午後5時30分まで（うち休憩1時間）で、1週間当たりの勤務時間は、休憩時間を除き、38時間45分となっています。

なお、勤務日は、日曜日や土曜日、祝休日に割り振られる場合があります。

(4) 休暇等

年次有給休暇（1年度につき20日以内）のほか、夏季休暇などがあります。

6 受験手続

(1) 受付先（問い合わせ先）

尼崎市教育委員会事務局管理部職員課（尼崎市役所本庁舎北館3階）

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

TEL (06) 6489-6709

(2) 提出書類

ア 試験申込書

必ず受験者本人が黒のインク又はボールペンで記入して下さい。また、必ず写真貼付欄に写真（縦4cm、横3.5cm）を貼付して下さい。

イ 受験票

必ず受験者本人が黒のインク又はボールペンで記入して下さい。

なお、「きりとりせん」で切り取り、「きりとりせん」から下の部分は提出せず、受験者本人が持っておいて下さい。

ウ 学芸員資格を有する又は資格を取得見込みであることを証明する書類

博物館に関する科目の単位取得証明書等を大学等に発行してもらって下さい。

なお、提出書類は、原本ではなく、写しでも構いません。

エ 埋蔵文化財発掘に係る経歴書及び発掘調査報告書

経歴書の様式は任意です。ただし、A4サイズで用意して下さい。

また、発掘調査報告書は、原本ではなく、写しでも構いません。

オ 合否通知用封筒

長形3号封筒（12.0cm×23.5cm）を1通用意して下さい。

なお、当該封筒には82円切手を貼付し、受験者の住所・氏名を記しておいて下さい。

(3) 郵送により申込みを行う場合の方法

角形2号封筒（24.0cm×33.2cm）に次のア～カのものを封入し、郵送に必要な額の切手を貼付のうえ、受付先へ郵送して下さい。

なお、ア～オについては、上記(2)のア～オのとおり用意して下さい。（※オとカを合わせると、長形3号封筒を2通用意する必要があります。）

ア 試験申込書

イ 受験票

ウ 学芸員資格を有する又は資格を取得見込みであることを証明する書類

エ 埋蔵文化財発掘に係る経歴書及び発掘調査報告書

オ 合否通知用封筒

カ 受験票送付用封筒

長形3号封筒（12.0cm×23.5cm）を1通用意して下さい。

なお、当該封筒には82円切手を貼付し、受験票の郵送希望先である住所と氏名を記入しておいて下さい。

(4) 受付期間

平成27年12月9日（水）から平成27年12月22日（火）までの期間中、平日の午前8時45分から午後5時30分まで（ただし、正午から午後1時までを除く）

(5) 注意事項

ア 平成27年12月22日（火）の午後5時30分までに受付先へ届かなかったものについては、いかなる理由があっても受付しませんので、持参はもちろんのこと、特に郵送する場合には、余裕をもって提出（送付）するようにして下さい。

イ 提出書類に不備があると、受付できず、結果的に受験できない場合があります。不明な点がありましたら、事前にお問い合わせ下さい。

ウ 受験に際しての提出書類は一切返却しません。

エ 受験資格がないことや、試験申込書等の記載事項を偽って記入していることが判明したときは、受験の受付を拒否若しくは取り消し、又は合格を取り消します。

オ 試験申込書に記入された個人情報については、尼崎市個人情報保護条例により保護され、採用試験以外の目的で利用されることはありません。

7 試験結果の開示

この試験の結果については、口頭で開示請求することができます。

なお、電話、はがき等による請求では開示できませんので、受験票及び受験者本人であることを明らかにする書類（運転免許証、旅券等）を持参のうえ、受験者本人が直接開示場所へお越し下さい。（受験者本人以外には開示できません。）

試 験	対象者	開示内容	開示期間	開示場所
第1次試験	各試験の	総合順位・総合得点	各試験結果発表	尼崎市教育委員会事務局管理部 職員課（尼崎市役所北館3階）
第2次試験	不合格者	総合順位	日より1か月間	

以 上

尼崎市教育委員会職員採用試験申込書

受験職種	学芸員（考古学）	第1次	※	第2次	※
------	----------	-----	---	-----	---

《試験申込書記入上の注意事項等》をよく読んで記入してください。（※印の欄は記入しないでください。）

ふりがな			性別	受験番号		受付印	
氏名				※		※	
生年月日	昭和・平成 年 月 日（ 歳）※平成28年4月1日現在の年齢					（写真貼付） 1 写真は、申込前3か月以内に、脱帽、正面向、上半身を撮影した、縦4cm、横3.5cmのもので、本人と確認できるものが必要です。 2 写真を貼っていない場合又は不鮮明その他受験写真として適当でない場合は、受け付けません。 平成 27 年 月 日撮影	
現住所	郵便番号（ - ）						
電話等	電話（固定）（ ） - 電話（携帯）（ ） - E-mail @						
連絡先	郵便番号（ - ） ※現住所以外への連絡を希望する場合のみ記入						
電話等	電話（固定）（ ） - 電話（携帯）（ ） - E-mail @					試験結果希望通知先 ☐ 現住所へ ☐ 連絡先へ	
学歴 （高等学校以上）	学 校 名	学部・学科・専攻名	在 学 期 間		修業年限	修学区分	
			自 S・H 年 月 日		年	☐ 卒業（修了） ☐ 卒業（修了）見込 ☐ 中退	
			至 S・H 年 月 日		年		
			自 S・H 年 月 日		年	☐ 卒業（修了） ☐ 卒業（修了）見込 ☐ 中退	
			至 S・H 年 月 日		年		
職 歴	勤務先（雇用形態）		在 職 期 間		所在地（市区町村まで記入）		退職理由
			自 S・H 年 月 日				
	正規・アルバイト・その他（ ）		至 S・H 年 月 日				
			自 S・H 年 月 日				
	正規・アルバイト・その他（ ）		至 S・H 年 月 日				
			自 S・H 年 月 日				
	正規・アルバイト・その他（ ）		至 S・H 年 月 日				
			自 S・H 年 月 日				
正規・アルバイト・その他（ ）		至 S・H 年 月 日					
資 格 ・ 免 許	名 称		取得年月日		名 称		取得年月日
			S・H 年 月 日				S・H 年 月 日
			S・H 年 月 日				S・H 年 月 日

志望動機											
あなたが認める長所					あなたが認める短所						
クラブ・サークル活動、ボランティア活動等											
趣味、スポーツ、特技等											
語学やパソコンについての能力等											
ゼミナール、課外活動等											
修士論文又は卒業論文のテーマと要旨											
過去に取り組んだ研究テーマと要旨											
次の質問に答えてください。 あなたは、地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しませんか。 該当する ・ 該当しない (いずれかを○で囲んでください。)											
申込書の記載事項は、事実と相違ありません。 平成 年 月 日 申込者氏名 (本人自署のこと)											
※						※年齢			※経験		
						※資格			※欠格		
						※学歴			※自署		

尼崎市教育委員会職員採用試験 受験票

職 種		学芸員（考古学）				
※受験番号	ふりがな				※受付印	
	氏 名					
	生年月日	昭和・平成	年	月		日
第 1 次 試 験	日 時	平成28年1月24日（日） 午前8時15分 開場 午前8時45分 集合				
	場 所	尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1番1号 Tel（06）6423-3400				
	持参するもの	受験票、HBの鉛筆、消しゴム、無地の下敷				
	注 意 事 項	○試験会場への自動車の乗り入れは禁止とします。 ○試験開始後30分以降の入場は認められません。				

（注）※印の欄は記入しないで下さい。

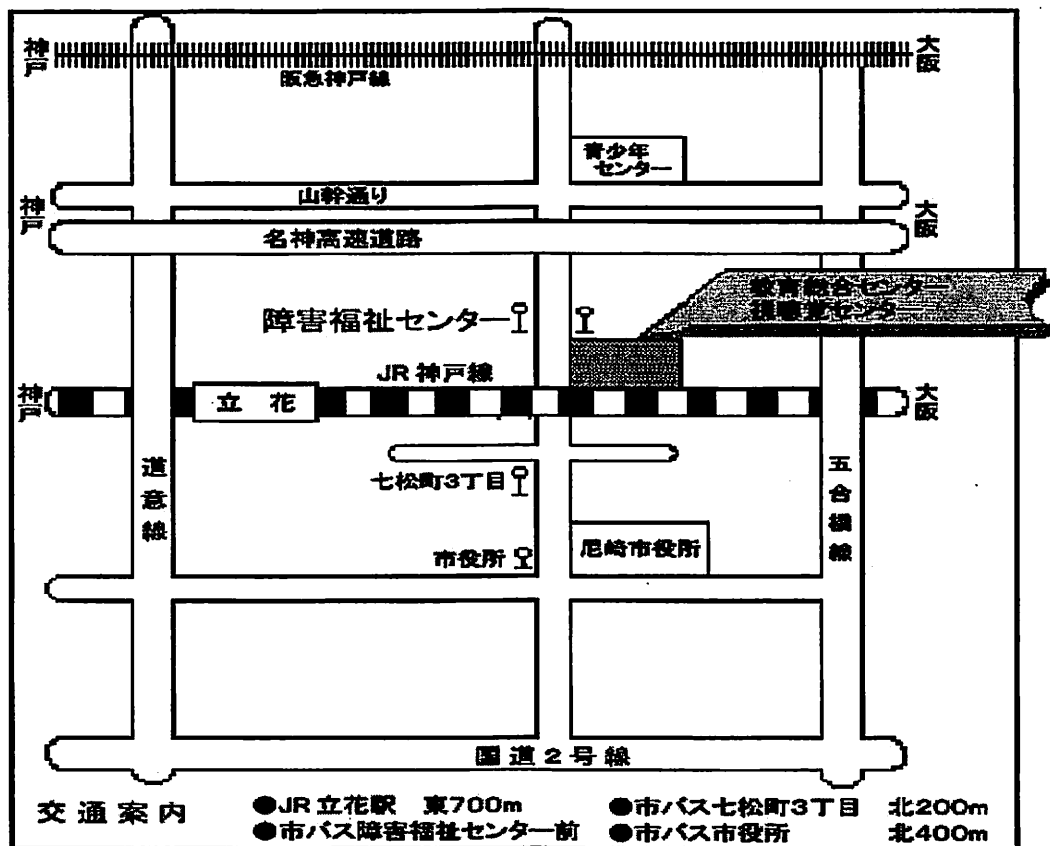
・ ———— き ———— り ———— と ———— り ———— せ ———— ん ———— ・

* 切り取って下さい。（下部分の提出は必要ありません。）

《試験申込書記入上の注意事項等》

- 1 「試験申込書」「受験票」及び「合否通知用封筒（82円切手貼付）」に必要事項を記入して下さい。
- 2 必ず受験者本人が記入して下さい。
- 3 記載事項は、申込日現在で記入してください。ただし、年齢は平成28年4月1日現在の年齢を記入して下さい。
- 4 黒のインク又はボールペンを用い、楷書で丁寧に記入して下さい。
- 5 数字は算用数字を使用して下さい。
- 6 ※印の欄は記入しないで下さい。
- 7 記載事項に不正があると、尼崎市職員として採用される資格を失うことがあります。
- 8 性別欄には、「男」又は「女」と記入して下さい。
- 9 学歴の欄には、高等学校以上の学校名、学部・学科・専攻名を記入して下さい。
- 10 職歴の欄には、予備校などの各種学校の通学期間や、自営、アルバイト等の経歴も含めて記入して下さい。
- 11 資格・免許の欄には、学芸員資格以外の資格（取得見込みを含める）を記入して下さい。
- 12 クラブ・サークル活動、ボランティア活動等の欄には、学生時代だけではなく、社会人になっても含めて、これまでに行った活動や、その中での自分の役割、成果等も記入して下さい。
- 13 趣味、スポーツ、特技等の欄には、単に名称を書くだけではなく、これまでの取り組み等についても詳しく記入して下さい。
- 14 ゼミナール、課外活動等の欄には、単に名称を書くだけではなく、その中で経験したことや努力したことなどについても詳しく記入して下さい。

〔第1次試験会場〕尼崎市立教育総合センター



広大文支第 15-234 号
平成 27 年 11 月 30 日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長
勝部 真人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

記

- 1 所属 広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座
- 2 職名・人員 准教授 1 名
- 3 採用予定年月日 平成 28 年 10 月 1 日
- 4 専門分野 東洋史学 (前近代中国史を中心とする)
- 5 担当科目 (大学院)
「東アジア地域文化論」、「中国文化史史料研究」ほか
(学部)
「アジア海域システム研究 (東洋史)」、「中国社会史文書解析学」ほか
(教養教育)
「歴史学の世界」ほか
※大学改革にともない、上記以外の授業科目を担当することもある。
- 6 応募資格
 - (1) 博士の学位または博士の学位と同等の学力を有し、著書 (単著) 1 冊以上または論文 10 編以上の研究業績を有する者
 - (2) 大学院における教育経験を有する者が望ましい (応募用履歴書に教育経験の履歴を明記のこと)
 - (3) 前近代中国史研究を専門としつつ、日本を含む前近代東アジア海域社会に関する講義を担当する能力がある者
 - (4) 中国語を母語としない場合、中国語圏への 1 年以上の留学経験のある者
 - (5) 日本語を母語としない場合、学内の業務に支障のない日本語能力を有する者
- 7 応募書類
 - (1) 履歴書 1 通 (学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記のこと)
 - (2) 研究業績一覧 1 部 (様式は次の URL を参照のこと)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html
 - (3) 主な研究業績 5 編の実物またはコピー 各 1 部
(それぞれ 400 字程度の要旨を添付すること。なお、審査の過程でほかの業績の提出を求めることがあります。)
 - (4) これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針 (2000 字程度)

- 8 応募期限 平成 28 年 2 月 5 日（金）必着
- 9 応募書類送付先 〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号
広島大学大学院文学研究科長 勝部 真人 宛
※提出書類は書留郵便（書留またはゆうパック、国際スピード郵便（EMS）に限る。）で郵送してください。その際、封筒の表に「歴史文化学講座東洋史学分野教員応募書類在中」と朱書きしてください。
- 10 選考方法 (1) 書類審査
(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。なお、面接の際に、模擬授業を行っていただくことがあります。
(旅費は応募者の負担となります。)
(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
- 11 給与等 採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。
(広島大学職員給与規則、広島大学年俸制職員給与規則適用)
【月給制適用の場合】
国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。
なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。
- 12 評価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
- 13 その他 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
- 14 問い合わせ先 〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号
広島大学大学院文学研究科
歴史文化学講座 金子 肇
TEL/FAX 082-424-6645
E-mail : kaneko@hiroshima-u.ac.jp
または、
〒739-8522 東広島市鏡山 1 丁目 2 番 3 号
広島大学文学研究科支援室
TEL 082-424-6604
FAX 082-424-0315

Recruitment Information

1. Affiliation: Department of History, Graduate School of Letters, Hiroshima University
2. Position and Number of Positions: Associate Professor, one (1)
3. Date of Commencement of Employment: October 1st, 2016
4. Field of Specialization: Asian History (especially on pre-modern history of China)
5. Courses to Teach:
 - Undergraduate programs (Specialized education courses):
 - Study on the System of Maritime Asia,
 - Analytical Study of Sources on Social History in China, etc.
 - Liberal arts courses:
 - World of Historical Study, etc.
 - Graduate programs:
 - Special Lecture on Regional Cultures in East Asia,
 - Study of Sources on Cultural History of China, etc.
6. Application Requirements
 - (1) Applicants must have completed doctoral degree or equivalent academic attainment, and must have published at least one academic publication (sole author) or at least ten research papers.
 - (2) Teaching experience in a university graduate school is desired (teaching experience must be clearly stated on the curriculum vitae).
 - (3) The speciality of applicants must be premodern history of China, and they must have the ability to teach the history of maritime society in pre-modern East Asia.
 - (4) Studying at least for one year in a Chinese-speaking country is desired for applicants who are non-native speakers of Chinese.
 - (5) Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.
7. Application Documents
 - (1) Curriculum vitae: One copy (including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.)
 - (2) List of publications: One copy (refer to the below URL for format)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html
 - (3) Originals or copies of five publications considered most relevant to position applied for: One original/copy of each (Each publication must include a summary of around 400 in Japanese characters. During the screening process, you may be requested to provide additional material).
 - (4) A plan for future research or teaching based on your research results or teaching experience to date (around 2,000 characters in Japanese)
8. Deadline for Applications: All application documents must reach us by February 5th, 2016.

9. Address to which to Send Application Documents

Makoto Katsube, Dean of the Graduate School of Letters,
Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522, JAPAN

* Send the required materials by registered mail. Write on the envelope in red ink,
"Application documents for the field of Asian History Enclosed".

10. Selection Procedures

(1) Selection based on application documents

(2) We may hold an interview as needed. The interview may include a mock lesson. In such a case, please note that no travel expenses will be provided. If we hold interviews with applicants who have passed the selection based on their application documents, we will inform them of the form of interview that we plan to have.

(3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

11. Salary, etc.

The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.

(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied. Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members Employed under Annual Salary System will be applied.)

12. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and translate their evaluation results into their treatment.

13. Miscellaneous

Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.

14. Contact

Prof. Hajime Kaneko

Graduate School of Letters, Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL +81-82-424-6645

FAX +81-82-424-6645

E-mail: kaneko@hiroshima-u.ac.jp

Academic Office, Graduate School of Letters, Hiroshima University,

1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522

TEL +81-82-424-6604

FAX +81-82-424-0315

広大文支第 15-235 号
平成 27 年 11 月 30 日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長
勝部 真人 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1 所属 | 広島大学大学院文学研究科 日本・中国文学語学講座 |
| 2 職名・人員 | 准教授 1 名 |
| 3 採用予定年月日 | 平成 28 年 10 月 1 日 |
| 4 専門分野 | 日本近代文学 (明治・大正期を中心とする) |
| 5 担当科目 | (大学院)
「日本近現代文学注釈研究 C」、「日中言語文化交流論 A」ほか
(学部)
「近代文学概説」、「近代文学演習 I」ほか
(教養教育)
「文学・語学の世界」ほか
※大学改革にともない、上記以外の授業科目を担当することもある。 |
| 6 応募資格 | (1) 博士の学位または博士の学位と同等の学力を有し、著書 (単著) 1 冊以上または論文 10 編以上の研究業績を有する者
(2) 大学院における教育経験を有する者が望ましい (応募用履歴書に教育経験の履歴を明記のこと) |
| 7 応募書類 | (1) 履歴書 1 通 (学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記のこと)
(2) 研究業績一覧 1 部 (様式は次の URL を参照のこと)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html
(3) 主な研究業績 5 編の実物またはコピー 各 1 部
(それぞれ 400 字程度の要旨を添付すること。なお、審査の過程でほかの業績の提出を求めることがある。)
(4) これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針 (2000 字程度) |
| 8 応募期限 | 平成 28 年 2 月 29 日 (月) 必着 |

- 9 応募書類送付先 〒739-8522 東広島市鏡山1丁目2番3号
広島大学大学院文学研究科長 勝部 真人 宛
※提出書類は書留郵便（書留またはゆうパック、国際スピード郵便（EMS）に限る。）で郵送してください。その際、封筒の表に「日本・中国文学語学講座 日本近代文学教員応募書類在中」と朱書きしてください。
- 10 選考方法 (1) 書類審査
(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。なお、面接の際に、模擬授業を行っていただくことがあります。
(旅費は応募者の負担となります。)
(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
- 11 給与等 採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。
(広島大学職員給与規則、広島大学年俸制職員給与規則適用)
【月給制適用の場合】
国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。
なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。
- 12 評価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
- 13 その他 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
- 14 問い合わせ先 〒739-8522 東広島市鏡山1丁目2番3号
広島大学大学院文学研究科
日本・中国文学語学講座 有元 伸子
TEL/FAX 082-424-6671
E-mail : narimoto@hiroshima-u.ac.jp
または、
〒739-8522 東広島市鏡山1丁目2番3号
広島大学文学研究科支援室
TEL 082-424-6604
FAX 082-424-0315

Date: November 30th, 2015

Recruitment Information

1. Affiliation: Department of Japanese and Chinese Languages and Literatures,
Graduate School of Letters, Hiroshima University
2. Position and Number of Positions : Associate Professor, one (1)
3. Date of Commencement of Employment: October 1st, 2016
4. Field of Specialization: Modern Japanese Literature (Specialized in the Meiji and Taisho Era)

5. Courses to Teach

Undergraduate programs (Specialized education courses):

General Introduction to Modern Literature,
Seminar on Modern Literature, etc.

Liberal arts courses:

World of Language and Literature, etc.

Graduate programs:

Study of Japanese Modern Literature,
Linguistic and Cultural Communication between Japan and China, etc.

6. Application Requirements

- (1) Applicants must have completed doctoral degree or equivalent academic attainment, and must have published at least one academic publication (sole author) or at least ten research papers.
- (2) Teaching experience in a university graduate school is desired (teaching experience must be clearly stated on the curriculum vitae).

7. Application Documents

- (1) Curriculum vitae: One copy (including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.)
- (2) List of publications: One copy (refer to the below URL for format)
http://www.hiroshima-u.ac.jp/bungaku/p_dfca4f.html
- (3) Originals or copies of five publications considered most relevant to position applied for: One original/copy of each (Each publication must include a summary of around 400 in Japanese characters. During the screening process, you may be requested to provide additional material).
- (4) A plan for future research or teaching based on your research results or teaching experience to date (around 2,000 characters in Japanese)

8. Deadline for Applications: All application documents must reach us by February 29th, 2016.

9. Address to which to Send Application Documents

Makoto Katsube, Dean of the Graduate School of Letters,
Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522, JAPAN

* Send the required materials by registered mail. Write on the envelope in red ink,
“Modern Japanese Literature for Japanese and Chinese Languages and
Literatures Application Enclosed”.

10. Selection Procedures

- (1) Selection based on application documents
- (2) We may hold an interview as needed. The interview may include a mock lesson. In such a case, please note that no travel expenses will be provided. If we hold interviews with applicants who have passed the selection based on their application documents, we will inform them of the form of interview that we plan to have.
- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

11. Salary, etc.

The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.

(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied. Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members Employed under Annual Salary System will be applied.)

12. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and translate their evaluation results into their treatment.

13. Miscellaneous

Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.

14. Contact

Prof. Nobuko Arimoto
Graduate School of Letters, Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522
TEL +81-82-424-6671
FAX +81-82-424-6671
E-mail: narimoto@hiroshima-u.ac.jp

Academic Office, Graduate School of Letters, Hiroshima University,
1-2-3 Kagamiyama Higashi-Hiroshima 739-8522
TEL +81-82-424-6604
FAX +81-82-424-0315

平成28年度国立歴史民俗博物館特別共同利用研究員募集要項

1. 目 的

大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、本館に特別共同利用研究員を受け入れるものである。

2. 募 集 人 員

若 干 名

3. 受 入 資 格

大学院の博士課程又は修士課程に在籍し、文献史学、考古学、民俗学および自然科学を含む関連諸学に関する分野を専攻する学生。

4. 受 入 期 間

平成28年4月から平成29年3月までとする。

なお、博士課程の後期課程（区分を設けていない博士課程にあつては、これに相当する課程）に在籍する学生に限り、延長を認めることがある。

5. 受 入 場 所

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市城内町117番地）

6. 指導教員及び研究指導項目

別紙のとおり。

7. 提 出 書 類

- (1) 所属する大学院の研究科長の委託書（様式1）
- (2) 所属する大学院の指導教員の推薦書（様式2）
- (3) 当該学生の履歴書、研究業績書（様式3）

8. 提 出 期 限

平成28年1月12日(火)必着

注：書類提出に先立ち、所属する大学院の指導教員並びに本館の指導教員と受入れについて十分相談し、了承を得た上で申請してください。

9. 書 類 提 出 先（書留で郵送のこと）

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 TEL 代表 043-486-0123

国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課研究教育係 TEL 043-486-4361

10. 受 入 れ の 決 定

提出された書類に基づき、本館教務委員会での審査の上館長が決定し、その結果を当該大学院研究科長及び本人に通知する。

11. 研究指導に係る費用

国公立大学のすべての大学院学生は無料とする。

12. そ の 他

- (1) 研究指導の内容等についての照会は当該指導教員をお願いします。また、事務手続きに関しての問い合わせは管理部研究協力課研究教育係にしてください。
- (2) 本館では学位論文の作成等の研究指導は行いますが、学位論文の審査や学位の授与、修得単位の認定等は当該学生が在籍する大学院で行うことが前提となっています。
- (3) 本館では、災害補償制度は準備していません。あらかじめ所属大学で、日本学生支援機構の行っている学生教育研究災害傷害保険等に参加してください。
- (4) 本館では、特別共同利用研究員の宿舍の用意はありません。
- (5) 本館の事業と教員紹介は本館のホームページ (<http://www.rekihaku.ac.jp/>) を参照してください。

指導教員及び研究指導項目

委託手続きをはじめる前に、本館の指導教員と研究指導の方法・内容等について直接よく話し合っ
て、研究の成果を十分に期待できるかどうか検討してください。

なお、指導教員は人事異動等により変更する場合があります。

(五十音順)

青 木 隆 浩	近現代の商家研究, 社会規範研究
青 山 宏 夫	歴史地理学, 地図史研究
荒 川 章 二	近代日本軍隊の社会関係史的研究
荒 木 和 憲	中世日本国際交流史
上 野 祥 史	古代東アジアの墳墓と金工品の考古学研究
内 田 順 子	近代日本における映像民俗学 (映画技術, 作品の歴史的・文化的背景, 民俗学との関わり)
大久保 純 一	浮世絵, 江戸後期の風景表現
小 倉 慈 司	日本古代文献史料論
川 村 清 志	祭礼, 民俗芸能を中心とした民俗文化
工 藤 雄一郎	先史時代の人類活動と環境との関係性に関する考古学的・年代学的研究
小 池 淳 一	民俗信仰の史的研究, 口承文芸の研究, 読み書きと民俗をめぐる学際研究, 日本民俗学史に関する研究
小 島 道 裕	洛中洛外図屏風などの都市風俗画, 中世を中心とする古文書, 歴史展示における博物館教育プログラム
小瀬戸 恵 美	自然科学的手法による歴史・文化財資料の材質分析と産地推定
後 藤 真	人文情報学・特に日本史学に対して情報技術を応用した研究
齋 藤 努	自然科学的な手法を用いた歴史資料の材質, 物性, 技法, 産地などに関する研究
坂 本 稔	炭素14年代法
澤 田 和 人	日本の染織史
柴 崎 茂 光	開発行為や規制政策が地域社会に及ぼす影響に関する民俗学的研究
島 津 美 子	自然科学的手法 (顕微鏡観察, 元素分析など) による彩色材料の材質分析 (顔料, 染料など)
鈴 木 卓 治	博物館における研究・展示・広報を支援する情報システム (ソフト・ハード) の研究, 色彩と画像の情報処理
関 沢 まゆみ	社会と儀礼に関する民俗学的研究, 高度経済成長と生活変化
高 田 貫 太	外来系の考古資料に基づく古代 (主に弥生~古墳時代) の日朝関係史
田 中 大 喜	中世武士団・武家領主論, 中世地域社会論
西 谷 大	人と自然の関係史からみた東アジアの生業比較研究
仁 藤 敦 史	都城制成立過程の研究, 古代王権論, 古代地域社会論
林 部 均	古代地域社会の研究
原 山 浩 介	近現代の国際間の移民に関する研究, 現代日本の市民運動に関する研究
樋 口 雄 彦	明治期の社会・文化と旧幕臣の動向
日 高 薫	蒔絵を中心とする漆工芸史
福 岡 万里子	幕末外交史, 19世紀東アジア国際関係史, 日独・日蘭関係史
藤 尾 慎一郎	先史時代の農業への転換, 鉄生産の歴史, 年代歴史学
松 尾 恒 一	民俗宗教・民間信仰の研究, 職能者の祭儀と呪術, 寺社の儀礼研究, 東アジアにおける異文化の接触と変容の研究
松 木 武 彦	古墳時代の考古学的研究, 武器と戦争の考古学的研究, 進化・認知科学に基づく理論考古学
松 田 睦 彦	生業の技術・信仰・人の移動
三 上 喜 孝	出土文字資料を中心にした古代東アジア文字文化の研究
村 木 二 郎	中世日本の流通・技術・信仰に関する考古学的研究
山 田 慎 也	死と葬送儀礼の近代化に関する研究
山 田 康 弘	Bio-archaeology的研究手法を取り入れた先史時代の墓制と社会構造の研究
横 山 百合子	近世女性史・都市史研究
吉 村 郊 子	生業と環境利用の変遷に関する人類学的研究

平成 年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

大学院研究科の長

所 属

氏 名

印

国立歴史民俗博物館への大学院学生の委託について（依頼）

このことについて、下記の者を貴博物館の特別共同利用研究員として委託したいので、
よろしくお取り計らい願います。

記

（ ふ り が な ）
氏 名

生 年 月 日 ・ 性 別 平成 年 月 日生（ 歳） 男 ・ 女
昭和

現 住 所 （郵便番号 - ）（TEL. ）

所属大学院における専攻名 研究科 専攻

所属大学院における在籍区分 修士 ・ 博士課程の別（平成28年度第 年次）

所属大学院における指導教員名

委託希望の研究課題名

委託希望の指導教員名

委 託 希 望 期 間 平成 年 月 ～ 平成 年 月

本 館 特 別 共 同 利 用 有（平成 年 月～平成 年 月）・ 無
研 究 員 と し て の 在 籍

以上

推 薦 書

平成 年 月 日

国立歴史民俗博物館長 殿

指 導 教 員

所属・職

氏 名

㊞

貴博物館の特別共同利用研究員として下記の者を推薦いたします。なお、貴博物館における委託希望教員の内諾を得ていることを申し添えます。

記

推薦する学生の氏名・所属研究科・専攻名

委託希望の指導教員名

推薦理由（評価を含む）

履 歴 書

平成 年 月 日 現在

ふりがな	印	性 別	平成 昭和	年	月	日生
氏 名		男 女	満	歳		

現住所 〒	電 話 ()
	E-mail

年 号	年	月	学 歴	入学・卒業・ 修了・退学
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				
自				
至				

※ 学歴は高等学校から記入のこと

年 号	年	月	職 歴 (学界及び社会における活動等を含む)
自			
至			
自			
至			
自			
至			
自			
至			

研究業績書

專 門 分 野	
---------	--

卒 業 論 文 名	
-----------	--

修 士 学 位 論 文 名	
---------------	--

著 書 及 び 学 術 論 文 名	発 行 又 は 発表年月日	掲 載 誌 名 又は学会名	発 行 所 (著書のみ)

志 望 研 究 内 容

◎国立歴史民俗博物館特別共同利用研究員として、志望する研究題目及びその研究内容について、簡潔に記入する事

研究題目：

[illegible]